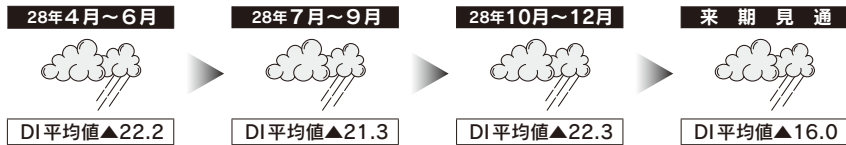


県内中小企業(製造業)景況動向

平成28年10月～12月期

設備投資が拡大する一方、人手不足感が強まる

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲21.4	▲40.3	▲10.7	▲9.1

前年同期比の売上高DIは▲15.2、収益性DIは▲6.1で、両方を合せたDI平均値は▲10.7となり「小雨」模様になっている。来期見通しは1.6ポイント上昇して▲9.1となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは9.1、収益性DIは13.3となった。

また、雇用人員判断DIは20.7、設備操業率DIは17.2、設備投資実施率は40.6%となった。

繊維・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲8.4	▲15.7	▲23.2	▲26.0

前年同期比の売上高DIは▲27.0、収益性DIは▲19.3で、両方を合せたDI平均値は▲23.2となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは2.8ポイント下降して▲26.0となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲30.8、収益性DIは▲25.0となった。

また、雇用人員判断DIは26.3、設備操業率DIは▲15.8、設備投資実施率は23.1%となった。



概況

売上高と収益性を合せたDI平均値(同期比)については▲22・3となり、前回調査(28年7-9月期)の▲21・3から1・0ポイント下降している。来期見通しにおいては、6・3ポイント上昇して▲16・0となっている。

売上高DI(同期比)については▲25・5となり、前回調査から1・3ポイント下降している。来期見通しにおいては▲16・7となっている。

収益性DI(同期比)については▲19・0となり、前回調査から0・

7ポイント下降している。来期見通しにおいては▲15・2となっている。

業況DI(同期比)については▲16・2となり、前回調査から2・5ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲11・6となっている。原材料価格DI(前期比)については13・7となり、前回調査から9・5ポイント上昇している。

販売価格DI(前期比)については▲6・9となり、前回調査から0・6ポイント下降している。

資金繰りDI(前期比)については▲10・8となり、前回調査から2・1ポイント下降し、悪化している。金融機関の態度DI(前期比)

については0・5となり、前回調査から2・4ポイント上昇し、緩和している。

設備投資実施率については36・0%となり、前回調査より9・3ポイント上昇している。業種別で最も高い実施率となったのは、「機械・機器」の44・2%で、目的別では、「品質向上」が28・6%でトップとなった。また、設備投資計画率については32・2%となった。

設備操業率DI(前期比)については▲5・8となり、前回調査から4・9ポイント上昇している。

雇用人員判断DI(前期比)については18・6となり、前回調査から15・9ポイント上昇している。

紙・加工品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲29.8	▲8.3	▲17.9	▲14.3
前年同期比の売上高D Iは▲21.5、収益性D Iは▲14.3で、両方を合せたD I平均値は▲17.9となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは3.6ポイント上昇して▲14.3となり「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは14.3、収益性D Iは7.2となった。 また、雇用人員判断D Iは「不足」、「過剰」ともに0.0%で0.0、設備操業率D Iは▲23.1、設備投資実施率は33.3%となった。			

木材・木製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲15.0	▲16.7	▲9.1	▲45.5
前年同期比の売上高D Iは▲9.1、収益性D Iも▲9.1で、両方を合せたD I平均値は▲9.1となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは36.4ポイントの大幅下降で▲45.5となり「雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲9.1、収益性D Iは▲18.2となった。 また、雇用人員判断D Iは18.2、設備操業率D Iは▲18.2、設備投資実施率は9.1%となった。			

金属・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲23.6	▲15.7	▲14.5	▲6.6
前年同期比の売上高D Iは▲10.6、収益性D Iは▲18.4で、両方を合せたD I平均値は▲14.5となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは7.9ポイント上昇して▲6.6となり「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは7.8、収益性D Iは▲3.6となった。 また、雇用人員判断D Iは17.8、設備操業率D Iは3.6、設備投資実施率は39.5%となった。			

窯業・土石製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲47.2	▲30.6	▲40.6	▲27.0
前年同期比の売上高D Iは▲51.4、収益性D Iは▲29.7で、両方を合せたD I平均値は▲40.6となり「雨」模様が続いている。来期見通しは13.6ポイント上昇して▲27.0となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲10.8、収益性D Iは▲8.9となった。 また、雇用人員判断D Iは20.6、設備操業率D Iは▲20.6、設備投資実施率は35.1%となった。			

プラスチック製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
0.0	20.0	16.7	0.0
前年同期比の売上高D Iは「増加」、「減少」ともに33.3%で0.0、収益性D Iは33.3で、両方を合せたD I平均値は16.7となり「薄日」模様が続いている。来期見通しは16.7ポイント下降して0.0となり「曇」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲16.6、収益性D Iは16.6となった。また、雇用人員判断D Iは「不足」、「過剰」ともに16.7%で0.0、設備操業率D Iは16.6、設備投資実施率は33.3%となった。			

機械・機器

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲11.8	▲16.7	▲30.5	▲10.6
前年同期比の売上高D Iは▲31.4、収益性D Iは▲29.5で、両方を合せたD I平均値は▲30.5となり「雨」模様に転じている。来期見通しは19.9ポイント上昇して▲10.6となり再び「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲7.7、収益性D Iは▲18.7となった。 また、雇用人員判断D Iは20.9、設備操業率D Iは▲6.3、設備投資実施率は44.2%となった。			